

大切に保管してください

N8103-55 SCSI コントローラ 組み立て・取り扱いの手引き

1. まえがき

このたびは、N8103-55 SCSI コントローラをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書をよくお読みになり、本製品の取り扱いを十分にご理解下さい。

また、**本製品を使用する前に、「2. 安全上のご注意」を必ずお読み下さい。**

本書は、N8103-55 SCSI コントローラを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。

2. 安全上のご注意



~必ずお読み下さい~

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

警告	指示を守らないと人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示しています。
注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

お守りいただく内容の種類を絵表示で区別し、説明しています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。		高温による障害を負うおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

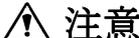
	特定しない一般的な禁止を示します。		分解・修理しないで下さい。感電や火災のおそれがあります。
--	-------------------	--	------------------------------

行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜いて下さい。火災や感電のおそれがあります。
--	-------------------------------------

安全にお使いいただくために、次に示す注意事項をお守り下さい。

 警告	
	本書に指示がない限り絶対に分解・修理・改造を行わないで下さい。故障の際はお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
	本製品の取り付けは、基本処理装置の電源を切断し、電源コードを抜いてから行って下さい。たとえ電源を切っても、電源コードを接続したまま装置内部の部品やケーブル/コネクタに触ると感電したり、ショートにより火災を起こすことがあります。また、ぬれた手で本製品の取り付け・取り外しを行わないでください。故障するばかりでなく、感電するおそれがあります。
	本製品を基本処理装置に取り付け後、万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災の原因となります。

 注意	
	電源コードはプラグ部分を持って引き抜いて下さい。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。
	基本処理装置の電源をOFFにした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行って下さい。
	本製品を基本処理装置のPCIバススロットに接続するときは、確実に差し込んで下さい。完全に差し込まなかった場合、発煙や発火のおそれがあります。
	接続ケーブルを踏んだり、重いものを乗せるなどの機械的なストレスがかかったり、熱などを加えないようにして下さい。また、接続ケーブルを取り外すときは、ロックを外し、コネクタ部分を持って真っ直ぐに引き抜いて下さい。機械的なストレスや熱を加えたり、コネクタをこじったり、ケーブル部分を持って引き抜いたりすると、ケーブル/コネクタの破損原因ともなり、被覆の絶縁劣化などにより感電したり、ショートすることがあります。
	NECが指定するSCSI機器以外を基本処理装置に取り付けたり、本製品に接続したりしないで下さい。指定外の機器や規格外のインタフェースを持つ機器はたとえ取り付けることができても、本製品および接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。本製品を購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせ下さい。
	SCSIケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていないか確認して下さい。コネクタが破損したり、ピンの汚れたケーブルを使用した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。
	SCSIケーブルは、当社指定のものを使用し、接続先をよく確認した上で接続して下さい。指定以外のものを使用したり誤接続した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。
	外付型SCSI機器を接続時、SCSIケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実に行って下さい。ロックしない場合、ショートにより火災を起こすことがあります。
	本製品をオプションサポートしているExpress5800シリーズ以外では使用できません。NECが指定していない装置・インタフェースケーブルを使用したために起きた故障については、その責任を負いかねますのでご了承下さい。
	本製品のそばでは携帯電話やPHS, ポケットベルの電源をOFFにしておいて下さい。電波による誤動作の原因になります。

3 . 使用上のご注意

本製品を正しく取り扱うために、次に示す注意事項をお守り下さい。

本製品は大変デリケートな電子部品です。基本処理装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃してから取り扱って下さい。また、本製品は端の部分を持って取り扱い、表面の部品やコネクタと接続する部分には触れないようにして下さい。

本製品を落としたり、物にぶつけないで下さい。誤動作の原因になります。

本製品の上に物を置かないで下さい。誤動作の原因になります。

出荷時の設定で本製品のSCSI IDは「ID=7」に設定されています。通常のご使用では、この設定を変更しないでください。
--

同一SCSIバス上に接続されているSCSI機器のSCSI IDが重複しないように設定して下さい。万一、重複している場合は、それぞれのSCSI機器に添付の取扱説明書を参照して、SCSI IDを設定して下さい。

目次

1 . まえがき	1
2 . 安全上のご注意  ~必ずお読み下さい~	2
3 . 使用上のご注意	4
4 . 仕様	6
5 . 構成品	7
6 . 各部の名称と機能	8
7 . SCSI コントローラの取り付け	9
8 . SCSI 機器との接続	10
8.1 外付け型 SCSI 機器の場合	10
8.2 内蔵型 SCSI 機器の場合	12
9 . SCSI コントローラのセットアップ	13
9.1 SCSI コントローラのセットアップ	13
9.2 SCSI ドライバのインストール	13
10 . 困ったときの処理	15
11 . SCSI コントローラの交換	16
12 . 修理について	17
13 . 第三者への譲渡について	17
14 . 廃棄について	17
15 . 保証書について	17
付録 . SCSI コントローラ セットアップユーティリティ	18

4 . 仕様

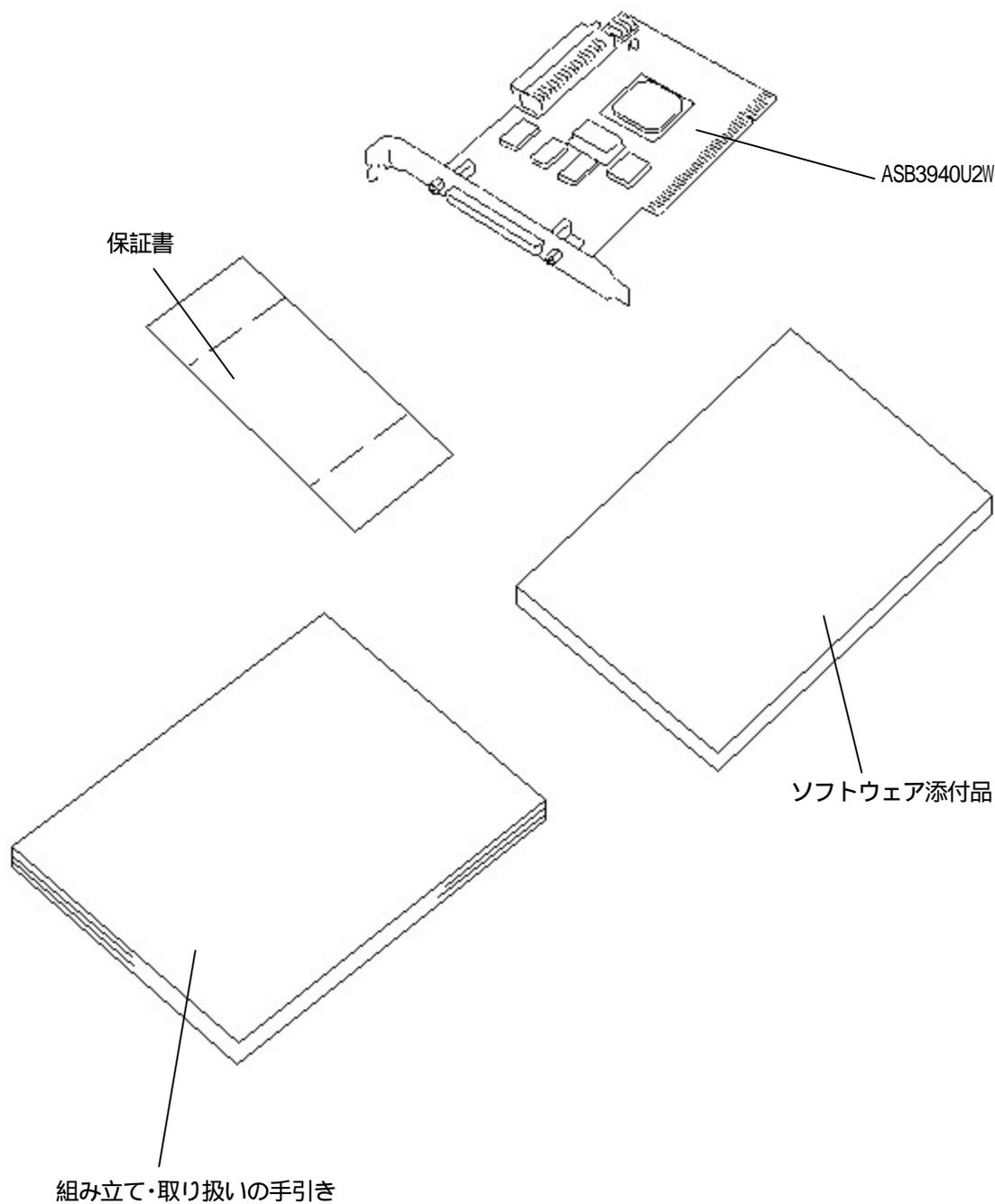
N8103-55 SCSI コントローラは、Express5800 シリーズ用に開発された PCI バス用の Ultra Wide SCSI コントローラです。

バスタイプ	32Bit PCI
転送方式	バスマスタ(DMA)
SCSI コントローラ	ASC38C0800
SCSI BIOS ROM	あり(Flash)
SCSI プロトコル	SCSI-1 , SCSI-2 , SCSI-3 , Ultra SCSI , Ultra Wide SCSI
Boot	可
最大データ転送速度	40MB/sec
バス転送速度	133MB/sec (burst mode)
接続可能な機器の最大数	15
接続用コネクタ形状	内部用 68 ピン × 1 , 外部用 68 ピン × 1
寸法	120mm × 84mm × 20mm
重量	85g
定格電圧 , 定格電流 , 消費電力	5V , 0.35A , 1.75W
温度	10 ~ 35 (保管時 : -40 ~ 75)
湿度	20% ~ 80% 結露しないこと

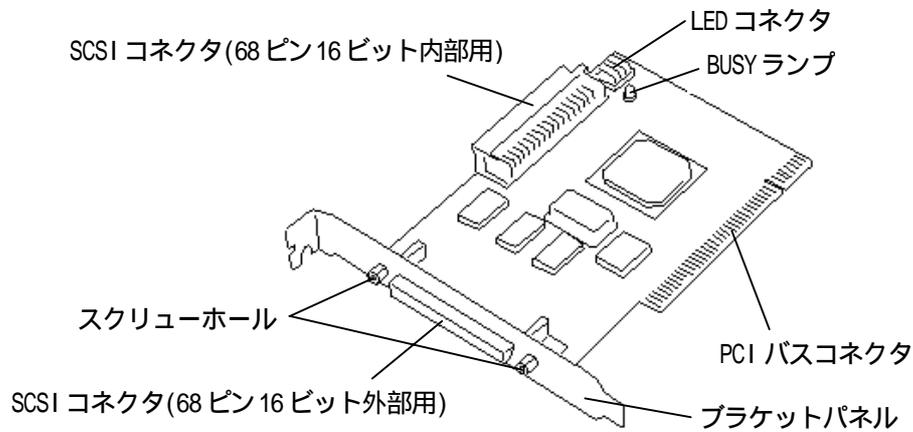
5 . 構成品

梱包箱には次のものが入っています。確認して下さい。万一、足りないものや破損しているものがありましたら、購入された販売店にご連絡下さい。

項番	品名	数量	備考
1	ASB3940U2W	1	PCI バス用ボード
2	組み立て・取り扱いの手引き	1	本書
3	ソフトウェア添付品	1	
4	保証書	1	



6 . 各部の名称と機能



ブラケットパネル

基本処理装置の増設スロットへ固定するためのブラケット

SCSI コネクタ(68ピン16ビット外部用)

SCSI 機器を接続するコネクタ

スクリューホール

SCSI ケーブルのコネクタを固定するためのネジ穴

PCI バスコネクタ

基本処理装置のPCI バススロットと接続する端子

SCSI コネクタ(68ピン16ビット内部用)

SCSI 機器を接続するコネクタ

BUSY ランプ

SCSI バス上、BUSY である場合に点灯します。

LED コネクタ

HDD の LED ケーブルを接続する場合に使用します。

7 . SCSI コントローラの取り付け

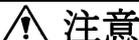
次の手順に従って本製品を基本処理装置へ取り付けます。

1. 基本処理装置の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認します。

基本処理装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本処理装置の電源を OFF にして下さい。

2. 基本処理装置の電源コードの電源プラグの部分を持ってコンセントから引き抜きます。

 警告	
	本製品の取り付けは、基本処理装置の電源を切断し、電源コードを抜いてから行って下さい。たとえ電源を切っても、電源コードを接続したまま装置内部の部品やケーブル/コネクタに触ると感電したり、ショートにより火災を起こすことがあります。

 注意	
	電源コードはプラグ部分を持って引き抜いて下さい。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。

3. 基本処理装置に添付のマニュアルに従って、PCI バススロットへ取り付けられるように基本処理装置のカバーや部品を外します。

 注意	
	基本処理装置の電源を OFF にした直後は本製品を含む内蔵の部品が高温になっています。内蔵の部品が十分に冷めたことを確認してから取り付け・取り外しを行って下さい。

4. 本製品を PCI バススロットにまっすぐ押し込みます。

 注意	
	本製品を基本処理装置の PCI バススロットに接続するときは、確実に差し込んで下さい。完全に差し込まなかった場合、発煙や発火のおそれがあります。

5. 取り外した基本処理装置の部品やカバーを取り付けます。

6. 基本処理装置の電源コードをコンセントに接続します。

8 . SCSI 機器との接続

次の手順に従って SCSI コントローラに SCSI 機器を接続します。

8.1 外付け型 SCSI 機器の場合

外付け型 SCSI 機器と接続する場合は以下の手順に従って下さい。

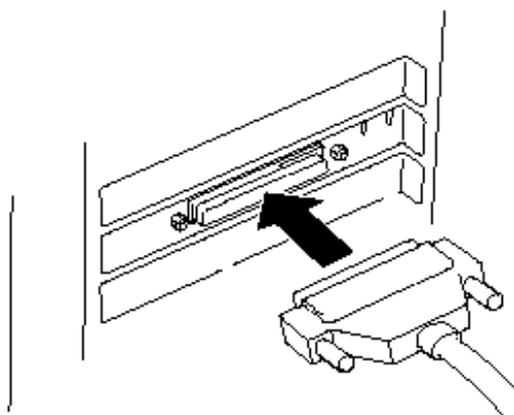
 注意	
	NECが指定するSCSI機器以外を基本処理装置に取り付けたり、本製品に接続したりしないで下さい。指定外の機器や規格外のインタフェースを持つ機器はたとえ取り付けることができても、本製品および接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。本製品を購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせ下さい。

1. 基本処理装置および接続する外付け SCSI 機器の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認します。

基本処理装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF 処理を行った後、基本処理装置の電源を OFF にして下さい。

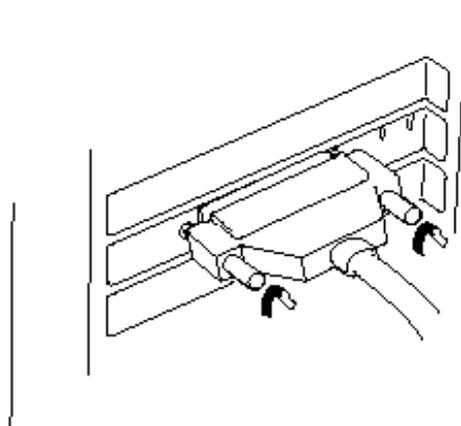
SCSI ケーブルの総ケーブル長は最大3mです。(尚、総ケーブル長は本製品のパターン長0.1mおよび接続する SCSI 機器内部線長を含みます。) また、Ultra SCSI に設定した SCSI 機器を4台以上接続する場合は総ケーブル長を1.5m以内にして下さい。

2. SCSI ケーブルの一方のコネクタを、本製品の SCSI コネクタ (外部用) に向きを合わせて接続します。



 注意	
	SCSI ケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていないか確認して下さい。コネクタが破損したり、ピンの汚れたケーブルを使用した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。
	SCSI ケーブルは、当社指定のものを使用し、接続先をよく確認した上で接続して下さい。指定以外のものを使用したり誤接続した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。

3. SCSI ケーブルのコネクタ両側にあるスクリューでコネクタを固定します。



4. SCSI ケーブルのもう一方のコネクタを外付け SCSI 機器のコネクタに接続し、固定します。

 注意	
	SCSIケーブルを接続したら、ネジ止めなどのロックを確実に行って下さい。ロックしない場合、ショートにより火災を起こすことがあります。

8.2 内蔵型 SCSI 機器の場合

内蔵型 SCSI 機器と接続する場合は以下の手順に従って下さい。

 注意	
	NECが指定するSCSI機器以外を基本処理装置に取り付けたり、本製品に接続したりしないで下さい。指定外の機器や規格外のインタフェースを持つ機器はたとえ取り付けることができても、本製品および接続した機器が正常に動作しないばかりか、故障するおそれがあります。本製品を購入された販売店または契約されている保守サービス会社にお問い合わせ下さい。

1. 基本処理装置の電源プラグの部分を持ってコンセントから引き抜きます。

基本処理装置の電源がON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源OFF 処理を行った後、基本処理装置の電源をOFF にして下さい。

2. 基本処理装置に添付のマニュアルに従って基本処理装置のカバーや部品を取り外します。

SCSI ケーブルの総ケーブル長は最大3mです。(尚、総ケーブル長は本製品のパターン長0.1mおよび接続するSCSI 機器内部線長を含みます。) また、Ultra SCSI に設定したSCSI 機器を4台以上接続する場合は総ケーブル長を1.5m以内にして下さい。

3. SCSI ケーブルのコネクタを、本製品の SCSI コネクタ (内部用) に向きを合わせて接続します。

 注意	
	SCSI ケーブルを接続する前に、ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていないか確認して下さい。コネクタが破損したり、ピンの汚れたケーブルを使用した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。
	SCSI ケーブルは、当社指定のものを使用し、接続先をよく確認した上で接続して下さい。指定以外のものを使用したり誤接続した場合、ショートにより火災を起こすことがあります。

4. SCSI ケーブルのコネクタを内蔵型 SCSI 機器のコネクタに確実に接続します。

5. 内蔵型 SCSI 機器の電源ケーブルを接続します。(詳しくは基本処理装置や接続 SCSI 機器のマニュアルを参照して下さい。)

6. 取り外した基本処理装置の部品やカバーを取り付けます。

7. 基本処理装置の電源コードをコンセントに接続します。

9 . SCSI コントローラのセットアップ

9.1 SCSI コントローラのセットアップ

必要に応じて本製品のユーティリティ「AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup」を使用してセットアップを行って下さい。

また、次の場合にはセットアップを行って下さい。

N8560-22 外付 DAT/N8560-23 外付 DAT 集合型など、LVD 対応の外付け型 SCSI 機器を接続する場合
「SCSI Configuration」の「Sync Transfer MB/Sec」の対応する ID の項目を“40”に設定します。

「AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup」の設定を行う場合は、本書巻末の「付録 . SCSI コントローラセットアップユーティリティ」を参照して下さい。

9.2 SCSI ドライバのインストール

本製品を Windows NT4.0、及び、Windows 2000 にて使用するためには、ドライバのインストールが必要です。以下の手順にてドライバをインストールしてください。

9.2.1 OS のインストール時にドライバをインストールする場合

基本処理装置に添付されている EXPRESSBUILDER 内のインストレーションサプリメントガイドを参照してインストールしてください。

9.2.2 Windows NT 4.0 が起動するシステムにドライバをインストールする場合

- (1) 管理者権限のあるユーザ (Administrator 等) でログオンします。
- (2) EXPRESSBUILDER (CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットします。
- (3) コントロールパネルの SCSI アダプタを開きます。
- (4) ドライバタブをクリックして“追加”ボタンをクリックします。
- (5) “ディスク使用”ボタンをクリックします。
- (6) 配布元のファイルのコピー元に、“D:\WINNT\OEM\FD\400J\FD1” と入力し、“OK”ボタンをクリックします。
 - ◆ “D” は CD-ROM ドライブを指定してください。
- (7) “NT4 AdvanSys UW/U2W/U3W SCSI Adapter” を選択し、“OK”ボタンを押します。
 - ◆ ドライバの読み込みが終了すると、再起動メッセージが表示されますので、Windows NT を再起動して下さい。
- (8) 以上でドライバのインストールは、終了です。

EXPRESSBUILDER は、基本処理装置に添付されているものを使用してください。

9.2.3 Windows 2000 が起動するシステムにドライバをインストールする場合

- (1) 管理者権限のあるユーザ(Administrator 等)でログオンします。
- (2) 新しいハードウェアの検索ウィザードが起動されます。“次へ”をクリックします。
- (3) “このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する”を選択し、“次へ”をクリックします。
- (4) “SCSI と RAID コントローラ”を選択し、“次へ”をクリックします。
- (5) EXPRESSBUILDER(CD-ROM)を CD-ROM ドライブに挿入し、“ディスク使用”ボタンをクリックします。
- (6) “D:\WINNT\OEM\FD\W2K\FD1” と入力し、“OK”ボタンをクリックします。
 - ◆ “D”は CD-ROM ドライブを指定してください。
- (7) “Win2K AdvanSys Ultra2 Wide SCSI Adapter”を選択します。
- (8) デバイスドライバのインストール開始画面で“次へ”をクリックします。
 - ◆ “デジタル署名が見つかりませんでした。”というメッセージが表示され、“インストールを続行しますか?”と確認されることがあります。“はい”を選択してください。
- (9) ドライバのコピーが開始され、終了後、「完了」を選択することによりインストールは終了します。
再起動を要求される場合と、されない場合がありますが、必ず再起動してください。再起動後、ドライバが有効になります。

EXPRESSBUILDER は、基本処理装置に添付されているものを使用してください

10 . 困ったときの処理

本製品の取り付け後、OS やアプリケーションが正常に動作しなかったときは、次の点について確認および対処して下さい。

本製品から最遠端の SCSI ケーブルのコネクタ、あるいは SCSI 機器にターミネータ(終端抵抗)を取り付けていますか？

SCSI ケーブルのコネクタ、あるいは SCSI 機器にターミネータを取り付けて下さい。

接続している SCSI 機器の SCSI ID が重複していませんか？

SCSI 機器の SCSI ID が重複しないように割り当て下さい(本製品の SCSI ID は「ID=7」です)。

SCSI ドライバをインストールしていますか？

SCSI ドライバをインストールして下さい。

本製品は PCI スロットに正しく接続されていますか？ またケーブルはしっかり接続されていますか？

もう一度しっかりと接続し直して下さい。

本製品のセットアップ情報は正しいですか？

本製品のユーティリティ「AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup」を使ってセットアップ情報を確認し、初期値(工場出荷時の設定)に設定して下さい。

(「付録 . SCSI コントローラ セットアップユーティリティ」を参照)

また、基本処理装置や接続した SCSI 機器に添付のマニュアルを参照し、変更すべき項目がある場合にはセットアップを行って下さい。

以上の確認を行っても基本処理装置が正しく動作しない場合は、いったん本製品を取り外して基本処理装置を起動して、基本処理装置の初期診断で異常がないことを確認して下さい。初期診断が正常に終了するようでしたら、本製品が故障していることが考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店にご連絡下さい。

1 1 . SCSI コントローラの交換

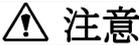
本製品が故障したときは、次の順序で交換します。

交換する前に、契約されている保守サービス会社、または購入された販売店にご連絡下さい。

1. 故障した本製品を取り付けている基本処理装置、および接続している周辺機器の電源が OFF (POWER ランプ消灯) になっていることを確認します。(基本処理装置の電源が ON (POWER ランプ点灯) になっている場合は、各 OS の電源 OFF の処理を行った後、基本処理装置の電源を OFF にして下さい。)

2. 基本処理装置の電源コードの電源プラグの部分を持ってコンセントから引き抜きます。

 警告	
	本製品の取り付けは、基本処理装置の電源を切断し、電源コードを抜いてから行って下さい。たとえ電源を切っても、電源コードを接続したまま装置内部の部品やケーブル/コネクタに触ると感電したり、ショートにより火災を起こすことがあります。

 注意	
	電源コードはプラグ部分を持って引き抜いて下さい。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。

3. 本製品に接続しているケーブルを取り外します。「8.SCSI 機器との接続」を参照して逆の手順を行って下さい。

4. 本製品を基本処理装置から取り外します。「7.SCSI コントローラの取り付け」を参照して逆の手順を行って下さい。

 注意	
	基本処理装置の電源をOFFにした直後は本製品を含む内蔵の部品が高温になっています。内蔵の部品が十分に冷めたことを確認してから取り付け・取り外しを行って下さい。

5. 新しい SCSI コントローラを取り付けます。「7.SCSI コントローラの取り付け」を参照して下さい。

6. ケーブルを接続します。「8.SCSI 機器との接続」を参照して下さい。

7. 必要に応じて基本処理装置のセットアップを行います。詳しくは、基本処理装置に添付のマニュアルを参照して下さい。

8. 基本処理装置の電源を ON にします。

12．修理について

修理を受ける際は、契約されている保守サービス会社、または購入された販売店にご連絡下さい。また、本製品の補修用修理部品の保有期限は、製造打ち切り後5年です。

13．第三者への譲渡について

本製品を譲渡する際は、必ず本書を含む全ての添付品を併せて譲渡して下さい。

14．廃棄について

本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従って下さい。詳しくは、各自治体へお問い合わせ下さい。

15．保証書について

本製品には保証書がついています。内容をお確かめの上、大切に保管して下さい。
保証期間と保証規定については、本製品に添付されている保証書を参照して下さい。
修理を依頼する場合は、契約されている保守サービス会社、または購入された販売店にご連絡下さい。

付録 . SCSI コントローラ セットアップユーティリティ

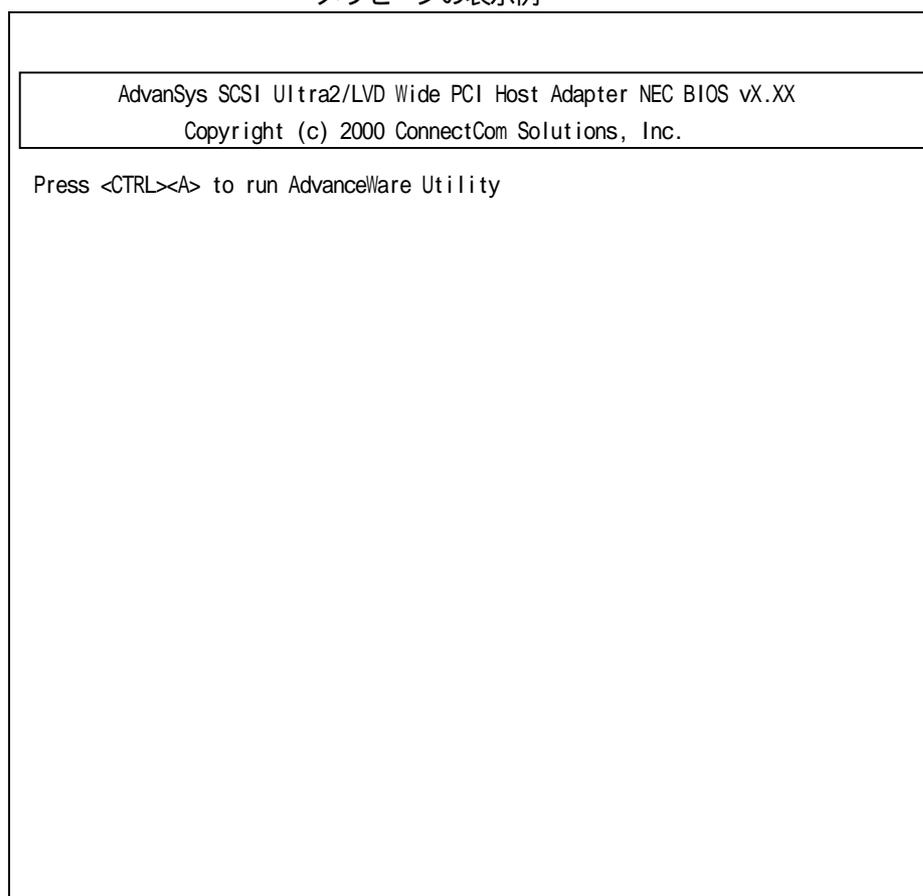
SCSI コントローラセットアップユーティリティ「AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup」について説明します。

セットアップユーティリティの起動

本 SCSI コントローラを取り付けている場合、POST 実行時に次のようなメッセージが表示されます。

増設した SCSI コントローラの枚数分、繰り返し表示されます。

メッセージの表示例



ユーティリティを起動しない場合は、本 SCSI コントローラに接続されている SCSI 機器が表示されます。

メッセージの表示例

```
AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter NEC BIOS vX.XX
Copyright (c) 2000 ConnectCom Solutions, Inc.

Press <CTRL><A> to run AdvanceWare Utility
AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Found at I/O Address 0xXXXX
ID #X:  XXX      XXXXXXXX      XXXX
ID #X:  XXXX     XXXXXXXX      XXXX
ID #7:  AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter
```

<Ctrl>キーを押しながらかA>キーを押すと、「AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup」が起動し、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の表示例

AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup Copyright (c) 2000 Port:XXXX IRQ:XX SCSI ID:7 BIOS:XXXX Serial #XXXXXXXXXXXX
Main Menu
Adapter Configuration SCSI Configuration SCSI Bus Scan Low Level Disk Format Restore Factory Defaults Restore Previous Settings Save Changes & Continue Discard Changes & Continue
[] Cursor [Spacebar] Select [Esc or Ctl-C] Return

Adapter Configuration

「Adapter Configuration」は、本 SCSI コントローラに対する設定を行います。

Adapter Configuration 画面の表示例

AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup Copyright (c) 2000 Port:XXXX IRQ:XX SCSI ID:7 BIOS:XXXX Serial #XXXXXXXXXXXX	
Adapter Configuration	
Host SCSI ID	7
Start-up Delay Time	0 seconds
SCSI Bus Reset Delay Time	3 seconds
SCSI Bus Termination	Automatic
Boot Device ID	0
BIOS Device Scan	Enabled
CD Bootability	Disabled
Extended Translation	Enabled
Support Removable as Fixed Disk	Disabled
SCSI Bus Reset	Enabled
[] Cursor [Spacebar] Select [Esc or Ctl-C] Return	

Host SCSI ID

SCSI コントローラの SCSI ID は “7” です。

Start-up Delay Time

SCSI 機器の Start-up 時間を選択します。0～99 秒の範囲で選択可能です。
初期値は “0” です。

SCSI Bus Reset Delay Time

BIOS Scan における SCSI リセット時の遅延時間を選択します。0～99 秒の範囲で選択可能です。
初期値は “3” です。

SCSI Bus Termination

SCSI バス上の終端抵抗の設定を選択します。“Automatic”、“Low Off/High Off”、“Low Off/High On”、“Low On/High On” を選択可能です。
初期値は “Automatic” です。

Boot Device ID

本 SCSI コントローラに接続されている SCSI 機器からブートを行う場合の、ブートデバイスの SCSI ID を選択します。
初期値は “0” です。

BIOS Device Scan

本 SCSI コントローラに接続されている SCSI 機器からブートを行う場合、“Enabled” を選択します。
初期値は “Enabled” です。

CD Bootability

本 SCSI コントローラに接続されている CD-ROM からブートを行う場合、“Enabled” を選択します。
初期値は “Disabled” です。

Extended Translation

1GB 以上のドライブパーティションを扱う場合、“Enabled” を選択します。

“Enabled” を選択すると、拡張変換方式がサポートされ、容量が 1GB を超える SCSI ハードディスクに対応できます。この設定は MS-DOS 5.0 以降でのみ必要になります。他のオペレーティングシステムでは設定する必要はありません。

初期値は “Enabled” です。

Support Removable as Fixed Disk

リムーバブルメディアドライブをハードディスクドライブとして認識させる場合、“Enabled” を選択します。

初期値は “Disabled” です。

必ず “Disabled” を選択して下さい。

SCSI Bus Reset

SCSI Bus Reset を行う場合、“Enabled” を選択します。

初期値は “Enabled” です。

必ず “Enabled” を選択して下さい。

SCSI Configuration

「SCSI Configuration」は、SCSI バスに対する設定を行います。

SCSI Configuration 画面の表示例

AdvanSys SCSI Ultra2/LVD Wide PCI Host Adapter Setup Copyright (c) 2000								
Port:XXXX IRQ:XX SCSI ID:7 BIOS:XXXX Serial #XXXXXXXXXXXX								
SCSI Configuration								
SCSI Device ID	#0	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7
Start Unit Command	Yes							
SCSI Disconnection	Yes							
Command Queuing	Yes							
BIOS Target Control	Yes							
Wide Data Transfer	Yes							
Sync Transfer MB/Sec	80	80	80	80	80	80	80	80
SCSI Device ID	#8	#9	#10	#11	#12	#13	#14	#15
Start Unit Command	Yes							
SCSI Disconnection	Yes							
Command Queuing	Yes							
BIOS Target Control	Yes							
Wide Data Transfer	Yes							
Sync Transfer MB/Sec	80	80	80	80	80	80	80	80
[<->] Cursor [y] Yes [n] No [Esc or Ctl-C] Return								

SCSI Device ID

SCSI ID#の表示です。

Start Unit Command

Start Unit Command を行う場合、“Yes” を選択します。初期値は“Yes”です。

SCSI Disconnection

SCSI 機器を Disconnect する場合、“Yes” を選択します。初期値は“Yes”です。

Command Queuing

SCSI コマンドのキューイングを行う場合、“Yes” を選択します。初期値は“Yes”です。

BIOS Target Control

ブート可能にする場合、“Yes” を選択します。SCSI コントローラ(SCSI ID#7)に対しては必ず“Yes”を選択します。初期値は“Yes”です。

Wide Data Transfer

Wide 転送(16-bit)を行う場合、“Yes” を選択します。Narrow 転送(8-bit)を行う場合、“No” を選択します。初期値は“Yes”です。

Sync Transfer MB/Sec

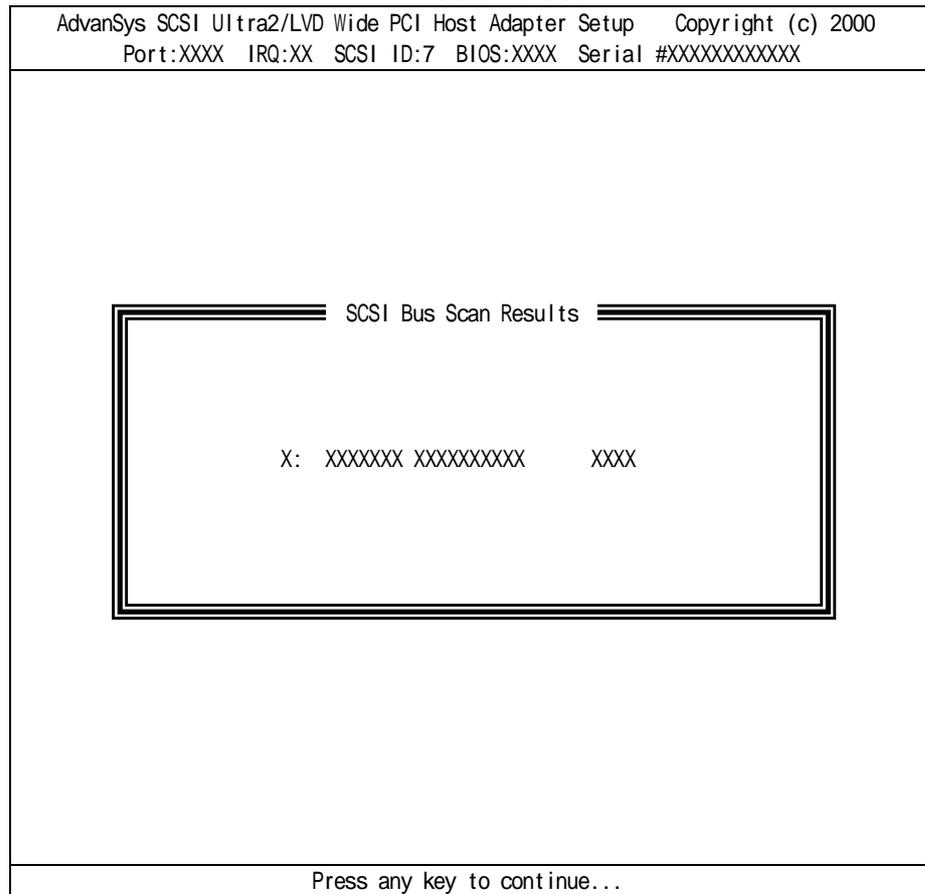
同期転送時の最大転送速度を選択します。“80”、“40”、“20”、“10”、“Off” を選択可能です。初期値は“80”です。

尚、実際の転送速度は接続される SCSI 機器、ケーブル、ターミネータによります。

SCSI Bus Scan

「SCSI Bus Scan」は、本 SCSI コントローラに接続された SCSI 機器の一覧を表示します。

SCSI Bus Scan 画面の表示例

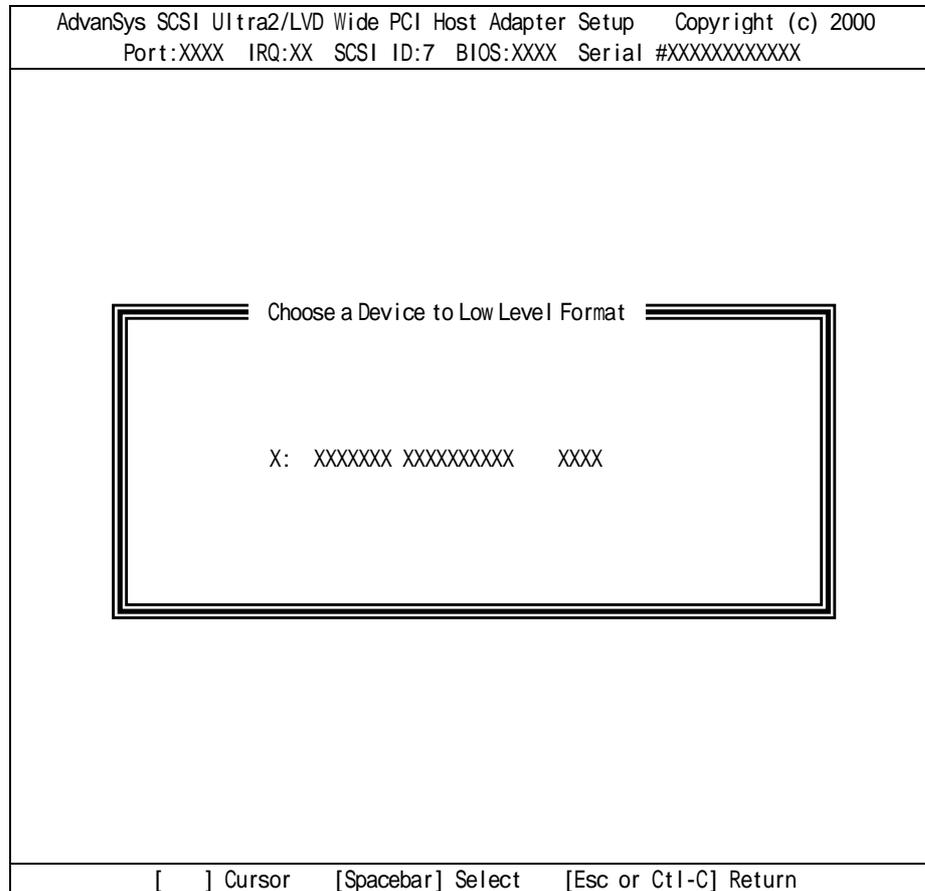


Low Level Disk Format

「Low Level Disk Format」は、本 SCSI コントローラに接続されたハードディスクの物理フォーマットを行います。

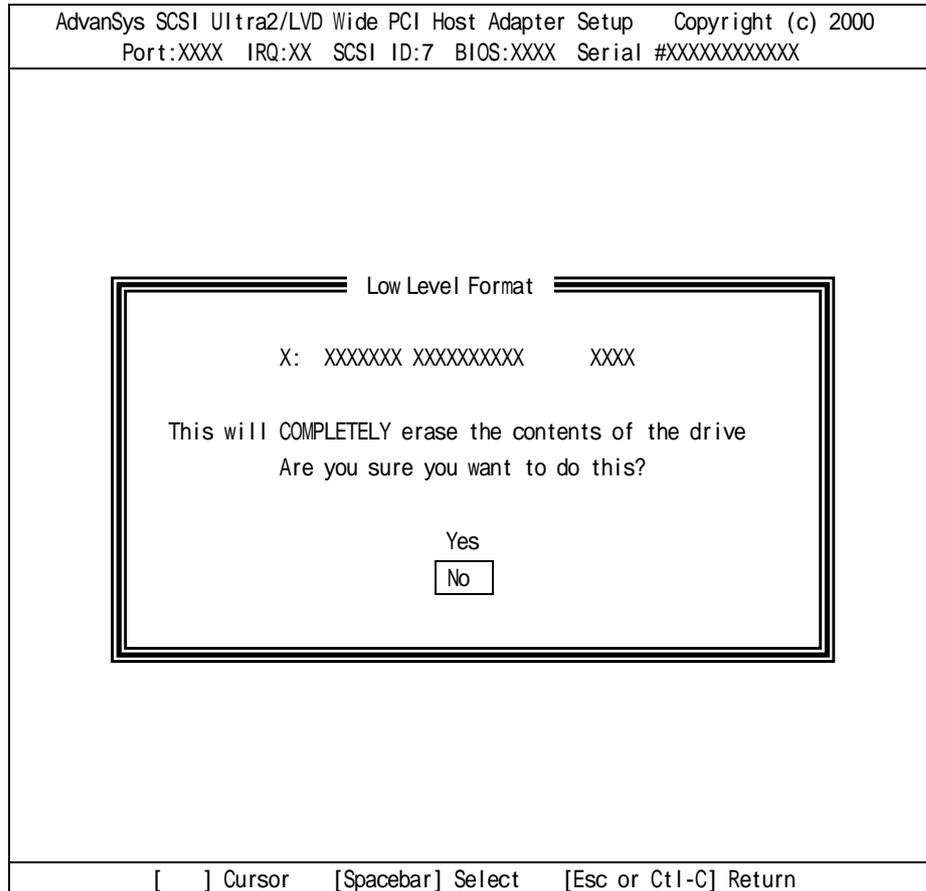
本操作を行うと、本 SCSI コントローラに接続されたハードディスクに記録されている情報が全て失われます。

Low Level Disk Format 画面の表示例



フォーマットしたいデバイスを キーで選択してリターンキーを押します。

Low Level Disk Format 画面の表示例の続き



フォーマットする場合は キーで Yes を選択してリターンキーを押します。

Restore Factory Defaults

初期値(工場出荷時の設定)に戻します。

Restore Previous Settings

本ユーティリティを起動した時の設定に戻します。

Save Changes & Continue

設定を保存して、POST 画面に戻ります。

Discard Changes & Continue

設定を保存せず、POST 画面に戻ります。

商標について

AdvanSys SCSI Ultra Wide2/LVD PCI Host Adapter Setup は米国 ConnectCom Solutions, INC. の登録商標です。
Windows2000 , WindowsNT , MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
NetWare は米国 Novell , Inc. の登録商標です。

本書の内容は、予告なく変更することがあります。

NEC

N8103-55
SCSI コントローラ
組み立て・取り扱いの手引き
856-840047-055-0
発行：2001年6月 第1版